



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://kito.com/ip/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

TEL 03-5908-0161  
平成27年12月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	25,809	40.3	1,505	76.0	1,194	33.7	568	12.7
27年3月期第2四半期	18,400	4.2	855	△26.7	892	△25.6	504	△32.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 563百万円 (10.7%) 27年3月期第2四半期 508百万円 (△70.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	21.65	21.58
27年3月期第2四半期	19.31	19.19

当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	62,278	25,808	39.8
27年3月期	63,183	25,626	38.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 24,778百万円 27年3月期 24,576百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	12.50	37.50
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	20.1	5,500	62.0	5,000	46.0	3,000	48.0	114.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	27,048,200 株	27年3月期	27,048,200 株
28年3月期2Q	797,016 株	27年3月期	815,016 株
28年3月期2Q	26,248,684 株	27年3月期2Q	26,122,567 株

当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
四半期連結損益計算書 .....	P. 7
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 11
(セグメント情報等) .....	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社を取り巻く環境は、世界経済の減速懸念を受けて景況感が悪化するなか、国内は比較的堅調に推移したものの、海外は全般的に不透明感が拡大しました。日本では企業の設備投資意欲が継続し、需要が堅調に推移しました。北米では需要は全体的に底堅いものの、エネルギー産業などでは依然として投資に慎重な姿勢が継続し、製造業にはドル高の影響が見られつつあります。中国は依然として景気の減速が続いており、需要は想定を下回り、中国経済の影響を受けたアジア地域では成長の勢いに鈍化がみられ、回復の兆しが見られておりません。

当社グループは、5ヵ年の中期経営計画を推進しており、平成23年4月のスタート当初から、①アジアを中心とした新興市場への事業展開、②製品ラインナップの強化、③生産及び調達のグローバル展開、④クレーンビジネス体制の構築に、取り組んでまいりました。昨今の中国経済の減速、アジア地域の設備投資鈍化といった外部環境の変化を受けて、中期経営計画の最終年度である当年度は、北米事業へのリソースのシフトに加えて、利益管理を強化するなど、柔軟な対応をとり、中期経営計画の達成を目指しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC. (以下、PEERLESS社)の買収効果もあり、25,809百万円(前年同期比40.3%増)となりました。利益につきましては、連結営業利益1,505百万円(前年同期比76.0%増)、連結経常利益1,194百万円(前年同期比33.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益568百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社および連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高 (前年同期比)	営業損益 (前年同期比)
日本	12,391百万円 (10.3%増)	2,682百万円 (27.8%増)
米州	12,870百万円 (107.6%増)	146百万円 (15.8%増)
中国	4,385百万円 (4.8%増)	551百万円 (41.2%増)
アジア	1,993百万円 (16.0%増)	△198百万円 (前年同期は314百万円の営業損失)
欧州	754百万円 (9.1%減)	23百万円 (26.9%増)

(日本)

売上高は12,391百万円となり、前年同期に比べて10.3%の増加となりました。民間の設備投資需要が底堅く推移し、電動品やクレーンなどの受注が堅調だったほか、公共需要、建築土木関係向けに、手動品の需要が高まりつつあります。営業利益は、工場での生産性の向上が寄与し、前年同期に比べて27.8%増加し、2,682百万円となりました。

(米州)

米国では、買収したPEERLESS社が連結業績に寄与したことから大きく増収となり、米州全体では売上高12,870百万円(前年同期比107.6%増)となりました。PEERLESS社を除いた既存事業は堅調に推移し、現地通貨ベースでは米国は前年同期比で2.9%、カナダは25.8%、それぞれ増加しました。PEERLESS社の買収は米国子会社を通じて実施しており、のれんの償却額162百万円ほか買収に関わる会計上の費用を米国子会社が負担したことにより、営業利益は146百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

(中国)

経済の減速傾向が強まり、需要が全般的に低調に推移しましたが、為替の影響もあり、日本円換算後の売上高は4,385百万円(前年同期比4.8%増)となりました。営業利益は551百万円(前年同期比41.2%増)となりました。

(アジア)

中国の景気減速の影響を受けて、地域経済の成長鈍化とともに投資需要が減退し、回復に至らないなか、収益の改善と、メンテナンスなどサービス事業の拡充を図った結果、売上高は1,993百万円(前年同期比16.0%増)、利益面では198百万円の営業損失(前年同期は314百万円の営業損失)となりました。

(欧州)

原油価格の動向など不透明感が増すなか、売上高は754百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益は23百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は62,278百万円と前連結会計年度末に対し905百万円減少いたしました。これは、現金及び預金の減少391百万円、受取手形及び売掛金の減少2,221百万円、商品及び製品の増加1,041百万円、機械及び運搬具（純額）の増加553百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は36,469百万円と前連結会計年度末に対し1,087百万円減少いたしました。これは、未払費用の減少610百万円、短期借入金の増加452百万円、未払法人税等の減少196百万円、長期借入金の減少556百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は25,808百万円と前連結会計年度末に対し181百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加240百万円、為替換算調整勘定の減少35百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は9,395百万円となり、前連結会計年度末に比べて381百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,878百万円と前年同期比524百万円収入増となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が1,194百万円、売上債権の減少が2,286百万円、たな卸資産の増加が1,608百万円、法人税等の支払額が864百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△744百万円と前年同期比7,071百万円支出減となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が603百万円、無形固定資産の取得による支出が158百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△1,470百万円と前年同期比10,498百万円収入減となりました。これは、長期借入れによる収入が1,000百万円、長期借入金の返済による支出が1,400百万円、社債の償還による支出が1,000百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成27年3月26日)を第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社KITO Americas, INC. が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産-のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,792	9,400
受取手形及び売掛金	12,593	10,372
商品及び製品	11,638	12,680
仕掛品	1,798	2,266
原材料及び貯蔵品	1,669	1,682
その他	3,041	3,214
貸倒引当金	△55	△46
流動資産合計	40,478	39,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,901	5,030
機械装置及び運搬具(純額)	4,797	5,351
その他(純額)	2,461	2,435
有形固定資産合計	12,161	12,817
無形固定資産		
のれん	4,012	3,281
その他	4,997	5,054
無形固定資産合計	9,009	8,335
投資その他の資産		
繰延税金資産	532	572
その他	1,000	982
投資その他の資産合計	1,532	1,555
固定資産合計	22,703	22,708
繰延資産	1	0
資産合計	63,183	62,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,113	6,589
短期借入金	4,319	4,772
未払費用	2,750	2,140
未払法人税等	1,013	816
引当金	788	779
その他	2,107	1,211
流動負債合計	17,093	16,309
固定負債		
長期借入金	16,025	15,469
役員退職慰労引当金	181	170
退職給付に係る負債	2,431	2,371
その他	1,825	2,149
固定負債合計	20,464	20,160
負債合計	37,557	36,469
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,219	5,224
利益剰余金	13,477	13,718
自己株式	△367	△358
株主資本合計	22,307	22,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
繰延ヘッジ損益	△56	△88
為替換算調整勘定	2,643	2,607
退職給付に係る調整累計額	△318	△303
その他の包括利益累計額合計	2,269	2,218
新株予約権	30	33
非支配株主持分	1,020	996
純資産合計	25,626	25,808
負債純資産合計	63,183	62,278

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,400	25,809
売上原価	11,841	16,796
売上総利益	6,558	9,013
販売費及び一般管理費	5,703	7,508
営業利益	855	1,505
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	0	0
為替差益	57	-
その他	101	81
営業外収益合計	172	96
営業外費用		
支払利息	97	249
為替差損	-	92
その他	37	65
営業外費用合計	135	407
経常利益	892	1,194
特別利益		
固定資産売却益	57	-
特別利益合計	57	-
税金等調整前四半期純利益	950	1,194
法人税等	448	593
四半期純利益	501	600
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	504	568

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	501	600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	1
繰延ヘッジ損益	-	△31
為替換算調整勘定	△12	△22
退職給付に係る調整額	16	15
その他の包括利益合計	7	△37
四半期包括利益	508	563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555	517
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	45

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	950	1,194
減価償却費	525	896
のれん償却額	38	195
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16	△9
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	△6
受取利息及び受取配当金	△13	△15
支払利息	97	249
売上債権の増減額 (△は増加)	2,187	2,286
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,153	△1,608
仕入債務の増減額 (△は減少)	△189	497
未払費用の増減額 (△は減少)	△187	△525
その他	253	△164
小計	2,556	2,980
利息及び配当金の受取額	21	4
利息の支払額	△100	△241
法人税等の支払額	△1,123	△864
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,353	1,878
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△881	△603
有形固定資産の売却による収入	410	2
無形固定資産の取得による支出	△16	△158
定期預金の払戻による収入	166	9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,477	-
その他	△18	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,816	△744

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,277	337
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△4,881	△1,400
社債の償還による支出	—	△1,000
配当金の支払額	△326	△326
非支配株主への配当金の支払額	△20	△69
自己株式の売却による収入	15	10
その他	△36	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,028	△1,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	△774	△45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,790	△381
現金及び現金同等物の期首残高	6,219	9,777
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,126	9,395

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	5,657	6,151	4,076	1,688	826	18,400	—	18,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,577	49	109	29	3	5,770	△5,770	—
計	11,235	6,201	4,185	1,718	829	24,170	△5,770	18,400
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,097	126	390	△314	18	2,320	△1,464	855

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,464百万円には、セグメント間取引消去△469百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△995百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC.の全株式を取得し、同社及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度末に比べて、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は「米州」において、16,922百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「米州」において、PEERLESS INDUSTRIAL GROUP, INC.の全株式を取得し、同社及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては4,981百万円であります。なお、のれんの金額は、暫定的に算定された金額であります。

## II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	6,048	12,853	4,159	1,993	754	25,809	-	25,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,343	17	226	-	-	6,586	△6,586	-
計	12,391	12,870	4,385	1,993	754	32,396	△6,586	25,809
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	2,682	146	551	△198	23	3,206	△1,701	1,505

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,701百万円には、セグメント間取引消去△594百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,106百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。